

町村に伺いました

訪問の様子とトピックスを随時お伝えしていきます。
更新をご期待ください。

-町村の皆さんからお話を伺いました- No.4

本別町総合ケアセンター



R2.5.28
今後の企業就労支援に向けた課題の整理やその解決方法についての話題から派生して、部署毎の垣根を超えて、「住みやすいまちづくり」を意識した役場での検討プロセスを伺いました。行政の立場では、現実的な制度設計や課題検討の話題が中心とならざるを得ない事情もあると思いますが、ご対応頂いた4名の方からは、魅力的なまちづくりを目指すための理想やビジョンの話題にも発展し、ワクワクする打ち合わせとなりました。

障がい者福祉担当 副主査 竹村さん（左上）、
副主査の安達さん（右上）、鈴木さん（右下）
高齢者福祉担当 門田 さん（左下）に
ご対応いただきました



就労継続支援 B 型事業所 本別 つつじの園



R2.5.28
町の将来展望を考えたときに、人口減少と少子高齢化が避けられない状況下の中、障がい福祉サービスの種別や利用総量についての再検討が必要との考えをお示し頂きました。限られた社会資源を有効に選択頂くために工夫していることと、事業所単位での工夫の限界を考えたときに、行政や地域との関係の中で活路を見出す方向性についての検討が必要と感じました。

理事長 施設長 新津さん
にご対応いただきました



就労継続 B 型事業所 ワークステーション「わくわく」



R2.5.28
今のところ町内でコロナウイルス感染拡大の影響が出ていない地域においても、利用対象者やそのご家族からの不安の声は寄せられているようです。少しでも不安を解消するために、事業所独自の対応方針を作成し、ご本人やご家族に説明をすることで安心感を持てただけたという話を伺いました。同時に福祉サービス事業所と相談支援専門員が連携してフォローする体制が取りやすい地域性についても伺いました。

管理者兼サービス管理責任者 羽賀さん
にご対応いただきました



障がい福祉サービス事業所こんぱす

R2.5.28



グループホームの入居者のうち、20名を超える方が一般企業にお勤めになっているそうです。その話の中で、観光業やアパレル関係の業種を中心に出勤への影響が大きく出ている様です。支援者が個別に丁寧に関わりをもってフォローされているエピソードもたくさんお聞かせ頂いた一方で、出勤することが出来ないことへの不安やストレスを抱えている対象者へのフォローの難しさも感じているそうです。

所長 浜上さん（左）、
相談支援専門員 一戸さん（右）
にご対応いただきました



今回の訪問は、本別・池田エリアに伺わせて頂きました。

地方のサービスになればなるほど、事業種別の対象者層に当てはまりにくい方も含めて支援対象になり得る現状があることと、そこへ対応していくためには、事業所側の個別の方への多様な対応の工夫があること、地域の関係機関との連携が重要になるということを改めて再確認出来ました。

良い意味で、地域の狭さや資源が限られている分、相談支援を直営で行う行政機関と地域の障がい福祉サービス事業所とが些細なことでも相談し合える密な連携が取れる土台があったり、お互いを知り得る距離感を保ちやすかったりと、地域ならではの強みがあることを感じる事が出来た訪問となりました。